

# 学術情報センターだより

Library and Science Information Center, Nagoya Women's University

## 何のための情報か

林 和 利 (日本文学科長)

去年の夏、私はイギリス北部のスコットランドにいた。エジンバラ大学主催の国際シンポジウム「21世紀における日本の演劇」に出席するためである。

私を含む早大プロジェクトチームが作製した DVD-ROM「狂言でござる」の成果を発表することが、私の仕事であった。この DVD-ROM は野村万作・萬斎父子主演による最高水準の狂言を、すぐれた日本の撮影技術で映像におさめ、そのデータを世界最先端のドイツの技術でソフト化した製品である（角川書店によって市販されている）。その映像を見せつつメリットを紹介した。

結果は予想以上の好評であったが、発表そのものは、実は冷や汗ものだった。主催者が用意してくれたパソコンがあいにく不調。最初の選択画面で固まって開かなくなってしまったのである。幸い専門スタッフの応急処置により事なきを得たが、再び画面が立ち上がるまでの数分間、私の心の中は暗澹たる境地であった。もし、このまま開かなかつたら、期待をもって送り出してくれた日本の関係者に何とってお詫びすべきかと、あたかも明治時代の国費留学生のような気分で汗びっしょりになっていた。

このようなエピソードを披露すると、さも私が最新の情報機器に精通しているかのような印象を与えてし

まいかねないが、実のところ、私は自他共に認める機械オンチである。たまたま依頼された仕事の関係でパソコンを使わざるを得なくなり、その延長線上に DVD-ROM があつたというにすぎない。けっして自分の意志で始めたわけではない。正直に言えば、今でもパソコンは嫌いである。

そんな私でさえもが、今や毎日インターネットにメール漬けという状況に追い込まれるほど、昨今の情報化社会の進展ぶりは著しい。今年度、本学が図書館と情報科学センターを統合して学術情報センターを発足させたのは、このような時代に機敏に反応した英断であった。すでにその成果を発揮しつつあるのは頼もしい限り。さらなる機能の充実と学問・教育への貢献が大いに期待される。

ただし、私はずっと疑問に思っている。果たして情報化社会は人類をどこへ導くのか、何のための情報かと。人間の幸福感は心の豊かさ温かさ以外にありえないと思うが、情報化社会につきまとう、どこか非人間的な冷たい印象は、私の錯覚ではあるまい。願わくば、豊かな未来社会と人間の幸福のための情報化であってほしい。それは情報に対する我々自身の処方方如何にかかっている。

### ◎ 目 次 ◎

何のための情報か	1
資料紹介	2
教科担当者選定図書を活用しよう！	3
海外の情報検索	4
～新規導入 Web サービス～ MAGAZINEPLUS	6
電子ジャーナル利用状況報告	6
CD-ROM 紹介	7
お知らせ	8

## 資料紹介

三谷 嘉明 (教育心理学・社会福祉)

本学図書館（汐路）には私の関係する多くの心理学・教育学・社会福祉学の全集、著作集、書籍が所蔵されている。この中からある書籍を紹介する方法もありますが、ここではある「テーマ」を設定し、それに重要な影響を及ぼした書籍を3冊とりあげ、それらの意義と関連性について述べる。現代の心理・教育・福祉の研究・実践の基本的原理となっているノーマライゼーションの思想、QOL（生活の質）の概念、共生の思想の独自性と関連性、統合性の可能性は今後の大きな課題になる。その課題の探求には以下に紹介する3冊の書籍はわれわれに示唆するものが大きいと思われる。少なくとも障害者の領域での最近の動向は「ノーマライゼーションからQOL、そして共生へ」と表現できると思っている。

さて、医療（看護）、心理・教育、福祉の諸領域のヒューマンサービスはノーマライゼーションの思想にあるが、その思想の定義を巡って未だ活発な論争が継続されている。ノーマライゼーションの思想とは何か、その独自性、普遍性、現代的意義の全体性を鳥瞰する上で、ヴォルフエンズベルガー（W. Wolfensberger）編著の『ノーマライゼーション——社会福祉サービスの本質——』は最適の書物であろう。ノーマライゼーションの思想は北欧に誕生し、瞬く間に世界に浸透し、時代精神にまでなるが、この思想の産みの親はデンマークのバンク・ミッケルセン（N. E. Bank-Mikkelsen）である。彼を中心とした努力が1959年デンマーク知的障害者法に結実し、その内容は、それまで知的障害をもつ人は生涯にわたる施設生活こそ適切な処遇であるとされていたが、バンク・ミッケルセンはその考えに疑問を抱き、知的障害を持つ人の本当の幸せは地域で普通の市民として、普通の生活が営まれることとした。その後、この思想はスウェーデンのニルジェ（B. Nirje）、北米のヴォルフエンズベルガー（W. Wolfensberger）を始めとして、世界中の研究者・実践家の賛同を得るところとなり、知的障害をもつ人が可能なかぎり地域で普通の生活が営まれる諸条件の探求に向かわせる。ノーマライゼーションの思想は最初、主として知的障害をもつ人を対象にしていたが、今やあらゆる人々にまで適用されている。ノーマライゼーションの思想の普遍性は人間の尊厳に向けて、人間の自由・平等・民主主義、人間の連帯を可能な限り追求し、その実践的方法として自己決定・自己選択の行使の実現にある。

ノーマライゼーションの思想は知的障害をもつ人々を施設生活から地域生活、普通の生活の促進に重要な役割を發揮したが、施設生活から地域生活に移行した知的障害をもつ人々が地域で真に幸福感や満足感に満たされた生活を営んでいるか否かが問われるようになる。幸福感や満足感の問いに答える有力な思想・方法としてQOL（生活の質）の思想が要請されるようになる。QOLの思想そのものは経済学や社会学の分野ではかなり早くから着目されていたが、医療（看護）、心理・教育、福祉の領域での急激な関心は比較的新しく、ここ20年前からである。ノーマライゼーションの思想は生活の「場所」、主として物理的環境を巡る問題であったが、QOLの思想は「場所」における個人の幸福感や満足感、すなわち心理的側面を巡る問題に焦点を合わせている。QOLは個人の心理的・内面的世界を中心とするだけに、非常に曖昧かつ主観性を帯び、客観的研究は遅々としていたが、1985年ごろから研究も活発化し、1990年代にはQOLの定義や測定法に国際的な共通認識を得るまでになる。その成果の一端は『虚弱な高齢者のQOL』に詳述されている。このQOLの思想も、その対象が全ての人々にまで拡大している。しかし、QOLの思想が万能でないのは、個人の幸福感や満足感に焦点化するあまり、個人と個人の関係性や個人と社会との関係性への配慮に弱点がある。これを補う思想として、新しく「共生」の思想が要請されてくる。

「共生」の思想とは何か。これは非常に漠然としているが、それだけに全ての理論を包含する極めて便利かつ説得力のある、魔術めいた言葉である。ちなみに、欧米における「共生」の概念は狭義の生物・医学的レベルが中心であり、我が国での豊かで、想像力を刺激し、生産性のある、全てを包含する万能薬に近いそれと対比される。「共生」の思想は我が国の精神文化に依拠し、欧米の思想からの自立の可能性を秘めている。

私は障害者思想の文脈からみて「共生」の思想は、ノーマライゼーションの思想、QOLの思想の展開が要請する思想であると考えている。「共生」の思想は『生活の質と「共生」』の中で体系的・総合的に論じられている。これからの社会は人間と人間、人間と他の生物、人間と自然、人間と超自然との真の関係性の探求に向かうのではないか。

### 紹介資料

- 『ノーマライゼーション——社会福祉サービスの本質——』（汐路所蔵：請求記号 369-599、天白所蔵：請求記号 369-594）
- 『生活の質と「共生」』（汐路所蔵：請求記号 304-148）
- 『虚弱な高齢者のQOL』（汐路所蔵：請求記号 369-1081）

## 教科担当者選定図書を活用しよう！

### ◎ 教科担当者選定図書を知っていますか？

教科担当者選定図書とは、教科書以外に講義の参考資料として、各教科の担当教員より推薦された資料です。予習・復習の必読書として、レポートの参考文献として、講義をより深く理解するためには欠かせないものです。学術情報センターでは、これらの資料を収集し、ライブラリーサービスのホームページ上でリストを公開してきました。このたびフォームをリニューアルしましたので改めて紹介します。

### ◎ リストの見かた

教科担当者選定図書のリストはどのように見たらよいのか、図を追って説明します。

1. ライブラリーサービスホームページのメニューから「教科担当者選定図書」をクリックします。
2. 「選定図書リスト教科目一覧表示」の画面（図1）が現れます。学部ごとに、教員名と担当する教科目が表示されます。見たい教科目をクリックします。
3. 「選定図書リスト選定図書一覧表示」の画面（図2）が現れます。左側には、書名・著者名・出版社、右側には、所蔵館・所蔵場所・請求記号が表示されます。館内で資料を探す際には、請求記号が最も重要です。見たい資料の請求記号をメモします。
4. 図2の画面で書名をクリックすると「選定図書リスト書誌情報表示」画面（図3）が現れます。出版年や版次など、資料についての詳細な情報が確認できます。



図1



図2



図3

### ◎ 資料の見つけかた

請求記号を控えたら、書架へ資料を探しに行きます。教科担当者選定図書は、ほかの図書と同じように請求記号に従って、所定の書庫やコーナーに並んでいますが、見つけやすいように、図書の背にある請求記号ラベルの上にピンクの丸いシールを貼付しています。

### ◎ 利用について

教科担当者選定図書だからといって特別に利用の制限はしていません。一般の資料に準じて手続を行い、貸出や複写をしてください。

新たに教科担当者選定図書が追加された場合は、随時更新してリストに掲載します。講義の予習やレポートに、どんな図書を読んだらいいのか困ったときは、まず初めに教科担当者選定図書を参考にしてください。



## 海外の情報検索

インターネットの発達によって、迅速かつ容易に海外の情報・文献を入手できる時代になりました。今回は、海外の情報検索に必要な PC の設定や、役立つテクニックなどをご紹介します。

### 1. 多言語利用のための PC

外国語を利用する最適の方法はその国の PC を購入することですが、インターネットで情報検索する程度ならば日本の PC でも十分利用できます。Macintosh は昔から多言語処理に優れていましたが、Windows も Windows 95→98→Me→2000→XP と、最新バージョンになるほど多言語処理が強化されています。特に Windows 2000 で著しく強化されましたので、本格的に多言語を利用するなら Windows 2000 以降をお勧めします。

### 2. 多言語利用のための日本語 Windows 設定方法

英語は日本語 Windows で問題なく扱えますが、その他の言語では、概ね下記の二点の設定が必要です。

- フォント：表示に必要。
- IME <sup>(1)</sup>：漢字などの入力に必要。

「独語・仏語などのヨーロッパ言語」「中国語」の二つに分けて設定方法を説明します。「OS：Windows 98/2000、ブラウザ：IE5 (Internet Explorer 5)」を想定し、最低限の説明に留めさせていただきます。詳しくは随時紹介する参考文献をご覧ください。

#### 2-1. 独語・仏語などのヨーロッパ言語

独語や仏語などの主要なヨーロッパ言語は、フォントが標準で入っており表示は問題ありません。「é」「ü」など日本語キーボードにない特殊文字は、下記の操作でキーボードレイアウトを追加すれば入力できます。

- コントロールパネルの「キーボード」の言語タブで「追加」を選び、目的の言語を選ぶ。

上記の設定後は、多言語インジケータをクリックして目的の言語を選択すれば、目的の言語が入力できます。その際のキーボード配置については、<http://www.microsoft.com/globaldev/keyboards/keyboards.asp> などで確認できますが、Windows Me 以降ならば「スクリーンキーボード」という付属プログラムでも確認できます。

#### 2-2. 中国語

中国語は、フォントと入力システムの両方のインストールが必要です。中国語は文字が非常に多く、コンピュータの扱いが難しい言語です。今回は概要しか説明できませんので、詳細は下記参考文献などをご参照願います。

電脳中国学 (良文出版、ISBN 4-87220-052-7)：汐路所蔵 (請求記号 007/171)

株式会社アルク：<http://www.alc.co.jp/mlng/index.html>

電脳瓦崗寨：<http://wagang.econ.hc.keio.ac.jp/>

##### 2-2-1. フォントのインストール

インストール方法は幾つかあります。簡単なのは、IE5 を複数言語サポートでインストールする方法です。

##### 2-2-2. IME のインストール

無料の入力システムのうち有名なのは下記の二つです。

- Global IME：IE5 の複数言語サポートでインストールできます。
- 微軟拼音输入法：Microsoft 中国 (<http://www.microsoft.com/china/>) から DL できます。Windows 2000 以降では OS に付属しています。

Global IME は手軽にインストールできますが、IE、Outlook Express、Word 2000 などごく一部のアプリケーションでしか利用できません。なお、Global IME には韓国語や日本語版もあり、海外の Windows で日本語入力 <sup>(2)</sup> するときにも利用されます。

微軟拼音输入法は、対応アプリケーションが多く機能も豊富ですが、日本語 Windows 98 においては Microsoft 非公認の方法です。やはり、本格的に中国語を利用するのであれば OS は Windows 2000 以降をお勧めします。

### 3. 海外の情報検索に役立つ知識

#### 3-1. 自動翻訳サイト

無料の多言語翻訳サイトは、海外の検索サイトの老舗「Altavista」(<http://world.altavista.com/>) を始め、数多く存在します。Altavista は、9 言語 (独仏伊西葡韓中日)、19 通りの組み合わせに対応しています。英⇄日のように言語体系が大きく翻訳はあまり期待できませんが、独語⇄英語のように言語体系の近い翻訳 (図 1、図 2) なら、概要を掴む程度 <sup>(3)</sup> には利用できます。「Inter Tran」(<http://www.tranexp.com:2000/>) は、25 言語、700 通り以上と

いう絶大な組み合わせを誇っていますが、正直なところ翻訳精度が低いです。



図1 Goethe-Institut のホームページ (翻訳前)



図2 Goethe-Institut のホームページ (翻訳後)

### 3-2. キーワードの綴りが曖昧な場合のテクニック

検索に使う単語の綴りをよく覚えてない場合などに有効なのが、まず google (<http://www.google.com/>) などの検索サイト<sup>(4)</sup> で類推できる単語で検索し、結果から必要な箇所をコピーする方法です。例えば、ノルウェーの最高峰“Galdhøpiggen”について情報検索したいとします。まず“norway highest peak”で検索し、検索結果から“Galdhøpiggen”を見つけ、これをコピーして再検索するわけです。これなら特殊文字“ø”の入力も不要です。



図3 類推できる単語で検索し、必要箇所をコピー



図4 コピー内容を検索窓にペーストして再検索

### 3-3. 洋書のインターネットショッピング

大手インターネット書店アマゾン<sup>(5)</sup>は複数国でサービス展開していますが、米国・英国の主な洋書は日本のアマゾン (<http://www.amazon.co.jp>) でも購入できます (取り扱い洋書数: 約 200 万タイトル)。日本のアマゾンは輸入料がかからず、一般書店の 7 割位の価格で購入できますし、在庫があれば数日で届きます。海外のアマゾンも、操作はほぼ同じなので簡単に利用できますし、日本以外のアマゾンはアカウント情報を共通利用できます。

インターネットショッピングではクレジットカード決済<sup>(5)</sup>が一般的<sup>(6)</sup>です。クレジットカード決済は便利ですが、セキュリティに問題のあるサイトも多々あるので注意が必要です。必ず、SSL<sup>(7)</sup> 対応であり、連絡先とプライバシー規約やトラブル時の補償などが明示されていることを確認すべきです。

その他、オンライン書店に関して「インターネットブックマップ (すばる舎、ISBN 4-88399-164-4)」に、色々と興味深い記事が載っています。近日中に汐路センターの書架に並びますのでご利用ください。また、「インターネットで文献探索 2000 年版 (日本図書館協会、ISBN 4-8204-0021-5) : 汐路所蔵 (請求記号 007/148)、天白所蔵 (請求記号 007/147)」には、国別の書店・図書館事情が詳しくまとめられており、非常に参考になります。

#### (注)

- (1) Input Method Editor の略。昔は FEP (Front End Processor) と呼んでいた。東アジアの言語は使用する文字が多く、全てをキーボードに割り当てることができないうため、入力には IME が必要になる。日本語 Windows には標準で MS-IME が入っており、購入時から日本語が入力できるが、海外の Windows で日本語を使う場合は別途日本語の IME が必要になる。
- (2) 海外の PC での日本語利用について、文献「はじめての旅先通信 2001 (ソフトバンクパブリッシング、ISBN 4-7973-1248-3) 汐路所蔵 (請求記号 4709)」に詳しい説明が載っています。
- (3) 翻訳結果をそのまま論文などに使えるような高性能な自動翻訳は、有償なものでもまだないと思われる。
- (4) Google など多言語対応の検索サイトをご利用ください。対応していないサイトだと文字化けしてしまいます。
- (5) 教職員の方が個人のクレジットカードを利用して校費請求する場合、事前に経理課へ相談が必要です。
- (6) アマゾンでは、手数料はかかるが代金引換も可能。
- (7) Secure Socket Layer の略。データを暗号化してやり取りする仕組み。

## ～新規導入 Web サービス～ **MAGAZINEPLUS**

学術情報センターでは、Web 版データベースとして新たに MAGAZINEPLUS のサービスを開始しました。ここでは、その概要と利用法について紹介します。

### 概要と特徴

MAGAZINEPLUS は国内 8,500 誌、485 万件の雑誌記事情報と人文社会系の研究報告や学術論文集 6,000 冊、35 万件の論文を検索することができるデータベースで、「雑誌記事索引 (1975 ～)」「ジャーナルインデックス (1981 ～)」「学会年報・研究報告 (1945 ～)」「シンポジウム・講演集 (1945 ～)」「記念・一般論文集 (1945 ～)」「海外産業・企画誌紙 (1984 ～)」のファイルで構成されていてこれらを横断検索することができます。また、MAGAZINEPLUS の大きな特徴として、書店で入手できる所謂一般誌、総合誌で構成されているジャーナルインデックスを検索できることが挙げられます。ジャーナルインデックスを利用することで、BSE、食品表示問題、地球温暖化や幼児虐待といった今まさに社会で取り上げられている幅広い情報をいち早く検索することができます。更に、通常なかなか検索のしづらい研究報告、講演集のデータベースもありますのでこうした情報からの文献検索もできます。尚、「雑誌記事索引」は学術情報センターで既にサービスを開始している NACSIS-IR でも利用ができます。更に、10 月からは国立国会図書館のホームページ (<http://ndl.go.jp/>) でも検索が可能になりましたのでこちらからの利用もできます。NACSIS-IR については前号で紹介しましたが、「雑誌記事索引」を始めその他

国内学会等の学術機関のデータベースを検索することができる学術データベースです。NACSIS-IR、MAGAZINEPLUS の双方を使い分け検索することにより、より網羅的な検索が可能です。

### 利用方法

MAGAZINEPLUS は学術情報センター／ライブラリーサービスのホームページ（データベース、電子ジャーナル）からリンクしています。学内であればどこからでもアクセスができます。検索画面では「キーワード」「著者名」「雑誌名」「出版社」「ISSN」「刊行年月」から検索条件を指定することができます。また、検索件数を見ながら絞込み検索をすることもできます。

検索結果は一覧、詳細表示で確認することができます。「雑誌記事索引」では最近 2 週間分の雑誌目次、「ジャーナルインデックス」では最近 1 週間分の雑誌記事を指定して最新情報を調べることもできます。

### 注意事項

MAGAZINEPLUS は 1 度に利用できる人数（ライセンス数）に制限がありますので、利用が終わったら必ず画面の「LOGOUT」ボタンを押して利用を終了して下さい。

MAGAZINEPLUS の各画面には「HELP」機能がありますので、細かな利用方法はこちらで確認しながら検索ができます。また、ライブラリーサービスカウンターでも随時利用法を説明しています。新たな情報検索ツールとしておおいに活用して下さい。

## 電子ジャーナル利用状況報告 ～ Expanded Academic ASAP International ～

平成 14 年度より Expanded Academic ASAP International のサービスを開始しています。利用方法等の詳細は前号で紹介しましたが、このサービスの最大の特徴は Web 上で論文検索すると同時に電子ジャーナルとして原報（1 次資料）まで利用できることです。導入から 4 ヶ月間の利用状況は下図に纏めたとおりですが、その利便性から順調に利用が浸透していることが伺えます。ライブラリーサービスでも日常のレファレンスツールに取り入れ、従来は他機関へ文献複写を求めなければならなかった論文も即時利用者へ提供するなど利用者サービスに活用しています。利用できる雑誌の一覧は検索画面の「Browse」ボタンで確認することができます。

Expanded Academic ASAP International 月別利用状況 (2002.7.31 現在)

	4月	5月	6月	7月
接続回数	13	8	33	12
検索回数	21	14	96	48
一覧表示件数	8	8	77	18
抄録・全文利用件数	1	0	23	2

Expanded Academic ASAP International は昨年度のトライアル結果を経て導入に至りました。電子ジャーナルサービスは各製品の機能が日々強化がされています。学術情報センターでは、今後もより本学の利用者のニーズに応じた製品を提供するために新製品のトライアルや紹介を積極的に進めて行く予定です。利用上の不明な点や要望はお気軽にカウンターまでお寄せ下さい。

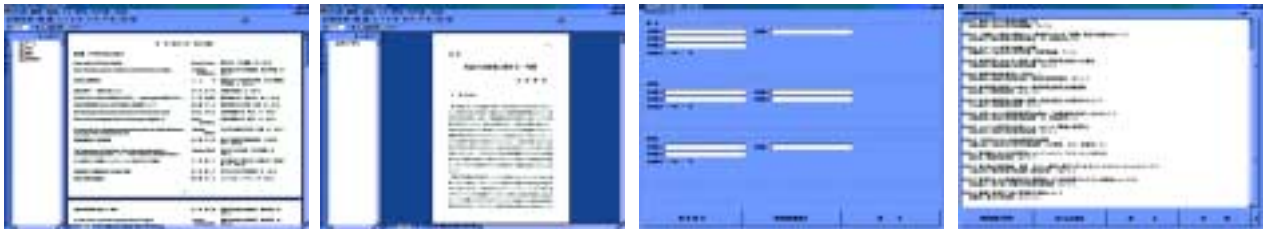
## CD-ROM 紹介

### 天白所蔵新規 CD-ROM

#### ● CD-ROM 版「英語学論説資料」「教育学論説資料」

従来冊子として刊行されていた「英語学論説資料」「教育学論説資料」が CD-ROM 版になったものです。当センターでは「英語学論説資料」は 1967 年（1号）から（請求番号：830/280 天白所蔵）「教育学論説資料」は 1981 年（1号）から（請求記号：370.4/196 天白所蔵）の冊子を所蔵していますが、2000 年収録分より CD-ROM 版を購入することになりました。この資料は、ともに国内の大学・学会の紀要、機関誌を中心に一般に市販されていない学術論文の原報を収録したもので、「英語学論説資料」は『英語年鑑』を、「教育学論説資料」は『教育研究論文索引』に収録された論文を主な典拠としています。

CD-ROM 版では下図のように、これまで冊子で分冊になっていた内容毎に CD が別れていて、目次から利用したい論文をクリックすると論文全文を PDF 形式で見ることができます。また、CD-ROM 版では、創刊号から最新までの累積索引があり、従来年度毎の収録論文一覧からしか行えなかった全年にわたる検索が一括でできるようになりました。検索は論題、執筆者、掲載誌名から行えます。CD-ROM 版「英語学論説資料」「教育学論説資料」は天白センター、情報コーナーの CD-ROM 検索端末で利用ができます。



### 汐路所蔵新規 CD-ROM

全てスタンドアローンでの利用になります。利用の際は、カウンターに申し出て下さい。

#### ● Look HACCP シリーズ HACCP フォーマット集

HACCP とは、「Hazard Analysis Critical Control Points」の頭文字をとったもので、「危害分析重要管理点」と訳されています。従来の最終検査に重点を置く衛生管理方法とは異なり、食品の安全性をより高めるため、原材料から最終製品に至る一連の工程を管理する衛生管理手法です。

この CD-ROM では、HACCP を構築する際に必要な一般衛生管理プログラムや HACCP の記録表サンプルが、Word 95、Excel 95 形式で各種収録されており、簡単に活用できます。（請求記号：498.54/152/1）

#### ● Look HACCP 微生物検査編

衛生管理や HACCP では、「どの工程で、何が原因で、どんな微生物が、どれくらいいるか、どういう危害を発生させるのか」把握しコントロールすることがポイントです。そのためには、現状の衛生管理や商品の衛生、機器や調理器具・作業上の衛生状態の検査を的確に行う必要があります。ここでは、それらの方法を公定法だけでなく、簡易検査の方法もあわせて絵や写真入りで説明してあります。

（請求記号：498.54/152/2）

#### ● わかりやすい ATP 検査

製造設備の清浄度維持は、一般衛生管理プログラムとして重要です。この CD-ROM では、ATP（アデノシン 3 リン酸）を利用して、清浄度を食品残さまで含めてリアルタイムに検出する仕組みや方法を、絵や写真を交えて解説してあります。

（請求記号：498.54/152/3）

#### ● 中国茶文化大全

この CD-ROM の特徴は、全編を通し豊富な図版や動画が、中国語の音声と共に用いられていることです。内容は 11 章に分かれており、各時代の発展、分布区域や中国における研究・教育機関、様々な中国茶の加工方法、中国各地の茶、各民族の飲茶習慣や茶道、茶具の発展と名品などは勿論、各時代の茶書や茶にまつわる書道や絵画、歴代の著名人について、茶の故事、伝説、健康についての考え方など、中国の茶文化を広範囲に渡って紹介しています。また、別冊には 4 名の日本人研究者の解題と内容の詳細目録が収録されており、CD-ROM の目次、キーワード、映像などによる検索機能と合わせて利用しやすくなっています。

（請求記号：617/43/1, 2）



---

---

# お知らせ

---

---

## ■学術情報センターのサービスのご案内

ライブラリーサービスを皆様の要望にお応えしまして、土曜日の開館を10月より再開します。開館時間及びサービス内容は以下のとおりです。

- ・開館時間 9:00～13:00
- ・サービス内容

閲覧、複写、利用者カード登録、個人情報登録、文献複写・相互貸借の受付け、紹介状の発行、参考業務

尚、以下のサービスは、行いませんのでご注意ください。

汐路センターのみ——裁断機・製本機の使用、グループ閲覧室の利用

汐路・天白センター共——外部データベース代行検索

## ■ライブラリーサービス利用指導のご案内

ライブラリーサービスでは、ゼミ生及び大学院生を対象にした文献収集方法の講習会を実施しています。講習会では、図書や雑誌などの冊子体資料の利用についてだけでなく、ライブラリーサービスのホームページ上から利用することが出来るデータベースの利用方法を説明いたします。これらのデータベースは、日々新しい物ができており、外国文献を探すための主力なツールになりつつあります。ライブラリーサービスでは、これらのデータベースを有効に利用して頂くため、ご希望の内容で講習会を実施しています。

講習をご希望される研究室がありましたら、ご希望の日時の1週間前までに、ライブラリーサービス閲覧カウンター（汐路：内線314、天白：内線271）までお申し込み下さい。

### [講習内容]

ご要望に応じて文献探索術を説明します。

主な内容

- ・冊子体資料の紹介及び使い方
- ・電子資料の紹介及び使い方
- CD-ROM 資料：化学技術文献速報 等
- Web サイト紹介：NACSIS-IR, Inside web, DNA（朝日新聞データベース）等
- ・その他
- HP 文献オーダー等の文献複写申込み方法について

### [講習時期]

年間を通じ、ご希望の時期に行います。

## ■学術情報センター（システムサービス）の利用について

8月より、学術情報センター（システムサービス）の汐路学舎事務室が、南2号館2階（南2-203）から中央館3階（中-303）に移動しました。それに伴い、システムサービスに関する利用方法が一部変更になりますので、ご承知おき願います。

1. 共同利用演習室におけるパソコン等のトラブルが発生した場合は、備え付けの内線電話で連絡してください。（内線320・309）
2. プリンタのインク等消耗品が必要な場合は、備え付けの内線電話で連絡してください。（内線320・309）
3. プロジェクタの貸し出しは、中央館3階（中-303）までお願いします。（教職員のみ）

---

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第41号 発行日：平成14年10月1日

発行：名古屋女子大学学術情報センター  
〒467-8610 名古屋市長徳区汐路町3-40

●ライブラリーサービス TEL (052) 852-9768  
●情報処理システム及び  
ネットワークに関するサービス TEL (052) 852-1120